

ポストコロナの 病棟活用! 地域の患者を診る かかりつけ病院の未来図

10月16日(月)
18:30~20:00

参加料 3,000円(税込)

形式 オンライン (Zoom)
※ミーティング形式



ゲスト
スピーカー

三瓶建二氏

医療法人横浜博萌会
西横浜国際総合病院 院長

プロフィール ● 1984年東邦大学医学部卒業。国立循環器病センター脳血管外科勤務を経て脳神経外科講師となる。96年~2000年 Johns Hopkins 大学脳循環代謝研究室に勤務後、2000年に横浜市済生会南部病院脳神経外科副部長を経て、02年に西横浜国際総合病院に脳神経外科部長として入職。14年より同院理事、16年に西横浜国際総合病院副院長を務めたのち、19年より現職。

病院の経営情報を提供する月刊誌「最新医療経営 PHASE3」では毎号、時節に合った特集を企画しています。

今回は、2023年10月号巻頭特集「まちの患者は誰が診る? 外来機能の分化と連携」との連動セミナーとなります。紹介受診重点医療機関の認定が始まるなど外来機能の明確化・連携強化が進んでいるように、かかりつけ病院では入院患者以外の患者と深く関わる必要性が増しています。

今回の演者には、医療法人横浜博萌会西横浜国際総合病院の三瓶建二院長をお迎えしました。在宅医療が診療報酬に収載される以前の1998年から在宅医療に関わってきた同院では、24時間の入院患者・在宅の救急患者の両者を支援するための体制構築を地域と連携しながら築いています。かかりつけ病院や在宅医療を支える病院として今後求められる役割についてお話いただきます。

特集を読んだうえで
セミナーに参加いただく
ことをお勧めします



タイムスケジュール

- 18:30~18:35 10月号特集解説
- 18:35~19:40 三瓶建二氏 講演
- 19:40~20:00 質疑応答 & 意見交換

お問い合わせ

株式会社日本医療企画セミナー事務局

03-3553-2885

ご購入は
こちら ▶



お申し込みは
こちら ▶

